**業務共同化モデル実証事業伴走支援委託業務
プロポーザル評価基準表**

項 目	審議内容	配点
1 業務経験及び専門性の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に類似の業務経験があること ・省力化・省人化支援の実績があること 	20
2 地域・社会貢献に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・産業構造や企業、労働力人口の減少等の県内産業の情勢や課題を把握していること ・業務完了によって達成を目指し、地域貢献に資する目標があること 	10
3 業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多岐にわたる産業分野の支援が可能であること ・伴走支援は、省力化・省人化の成果を見込むのに十分な支援回数・内容であること ・実証事業報告会は、県内企業への波及が見込める内容であること ・実施スケジュールが適切であること 	30
4 業務実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・伴走支援者に省力化・省人化支援の専門性があること ・適切な人員・人数の配置であること 	30
5 業務に要する経費及びその内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・費用が適正な価格であること 	10
合 計		100